

# 令和6年度 経営発達支援計画

## 事業実施報告書

評価集約版

太子町商工会

## 事業の評価及び見直しをするための仕組み（計画書 13P）

経営発達支援事業の円滑かつ効果的な実施に向けた取組として、行政や外部有識者による事業評価委員会を設置し、年1回事業の成果、評価及び見直しを行うとともに、その結果を商工会理事会へ報告する。これらを踏まえたうえで、次年度事業計画を立案する。

また、事業の成果・見直しの結果については、商工会のホームページにより公表する。上記のとおり PDCA しながら太子町商工会の経営発達支援事業の効果的な実施を図る。

### 事業評価委員会

区分	所属	役職	氏名
委員	中小企業診断士		荒木 慎吾
	太子町産業経済課	課長	栗岡 秀成
	日本政策金融公庫姫路支店	支店長	佐藤 文昭
	太子町商工会	事務局長	細川 雅弘
事務局	太子町商工会	課長	玉越 博充
		主任	山田 厚治
		主任	笹屋 昌秀

### 【評価方法について】

- ・評価欄は、評価の目安を参考にして5段階で評価してください
- ・コメント欄は、【目標及び実績】を参考に、簡潔にコメントしてください
- ・忌憚のないご意見をお聞かせくださいますよう宜しくお願い致します。

#### 【評価の目安】

A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69%  
D：達成率 1～39% E：達成率 0%

### 記載例

評価	コメント
B	ほぼ、目標どおりの実績であり、しっかり取り組んでいる。 経営革新の計画策定については、物足りない。 事業承継の問題を抱えている事業所も多く、もっと件数を増やす必要がある。

## I. 経営発達支援事業の内容

### 1. 地域の経済動向調査に関すること（計画書 5～6P）

#### 【実施した事業内容】参考資料 1～4

中小企業景況調査（地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに実態等諸情報を迅速・的確に収集・提供し、経営改善普及事業の効果的な実施に資するもの）を、異なる業種で7事業所を対象に四半期ごとに実施した。また、4業種（サービス業・製造業・商業・建設業）でも12事業所を対象に四半期ごとに実施し、それぞれ分析を行った。

また、独自で管内小規模事業者には1職員月5件の景況調査を実施し、収集したデータを独自様式に整理・分析した結果を毎月の職員会議でフィードバックを行った。

調査対象期間：①②1～3月期、4～6月期、7～9月期、10～12月期／年4回

③4～6月期、7～9月期、10～12月期、1～3月期／年4回

（1～3月期は3月に実施予定）

調査方法：①全国商工会連合会小規模景気動向調査

②西播磨県民局地域経済動向調査

③太子町商工会職員による会員への調査

#### 【補足説明】

本年度よりHPを大幅に改善したことにより、経済動向調査を掲載。また太子町事業所のDI値等の景気動向把握を行い、精度向上を図っている。

#### 【令和6年度目標及び実績】

項目	目標	実績
①②業種別景況動向調査件数	76件	76件
③商工会独自の分析数	100件	91件
④動向・景気動向分析結果の情報発信（商工会HP）	4回	3回

#### 【評価・コメント】

評価	コメント
B	一部に未達の項目があるが、調査件数と分析数において、一定数を実施されている点を評価した。

B	HP も改善され、ほぼ、目標どおりの実績であり、しっかり取り組まれている。
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標どおりの実績であり、しっかり取り組んでいる。</li> <li>・ 他の商工団体と比較しても十分な実施件数である。</li> <li>・ 今後は調査結果を活かした商工施策の実施に期待したい。</li> </ul>

## 2. 需要動向調査に関すること（計画書 6～7P）

### 【実施した事業内容】

町内の事業者やお店を知ってもらう取組として「太子町スタンプラリー」を実施した。同事業には、84 事業者が参加、スタンプラリーには 836 人の応募があった。当選者 100 名の方に需要動向調査（アンケート）を実施し、79 人の回答があった。

また太子町スタンプラリーへの流れも構築され、更なる消費の落ち込みを抑制、頑張る事業者を後押しする機会とし、地域経済の振興に貢献することを目的に「お買い物応援 スクラッチキャンペーン事業」を実施した。同事業には、42 事業者が参加、スクラッチカードは 1 セット 100 枚入りを 167 セット販売した。1,000 円お買い物ごとに 1 枚を進呈して当たり券は換金された方は延べで 1,079 人であった。

#### ①太子町スタンプラリー事業概要

実施期間：令和 6 年 10 月 1 日～11 月 30 日

参加事業者：84 者（うち需要動向調査事業者 84 者）

スタンプラリー応募：836 人

参加店を周遊していただき 1 店舗につき 1 個スタンプを押印又はデジタルスタンプを取得し、5 店舗で 5 個スタンプを集めれば応募でき、抽選で 100 名に賞品（商品券 3,000 円分）が当たる企画。

#### ②お買い物応援 スクラッチキャンペーン事業概要

実施期間：令和 6 年 8 月 1 日～8 月 31 日

参加事業者：42 者

スクラッチカード購入数：167 セット

スクラッチ当たり券換金者：1,079 人（延べ数）

スクラッチは買い物金額に応じて配布し、当たった金額は金券（1 等から 3 等及びはずれの 4 区分）として期間中に使用。またはずれ券も太子町スタンプラリー事業へ誘導材料として活用し、消費者の購買意欲、消費行動促進を図るための企画。

【令和6年度目標及び実績】

項目	5年度実績	6年度目標	6年度実績
①需要動向アンケート調査 (事業者)	59者	20者	84者
②需要動向アンケート調査 (町民・来町者)	83件	100件	79件

【評価・コメント】

評価	コメント
B	アンケート調査では、「事業者」「町民・来町者」の偏りが大きいですが、合算した件数では、5年度実績と6年度目標を大きく上回っている点を評価した。
B	スタンプラリーの実施により、ほぼ、目標どおりの実績であり、しっかり取り組まれている。町民への動向調査は、より有効なものとなるよう努めていただきたい。
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ目標どおりの実績であり、しっかり取り組んでいる。</li> <li>・事業者へのアンケートについては前年度を大きく上回る実績である。</li> <li>・地域の消費行動促進に貢献したものと判断される。</li> </ul>

3. 経営状況の分析に関すること（計画書7～9P）

【実施した事業内容】[参考資料5](#)

①事業計画策定セミナー

名称：経営計画作成セミナー

日時：令和6年9月27日（金）19：00～21：00

場所：太子町商工会館2階大会議室

参加事業者：15名

講師：中小企業診断士 荒木 慎吾 氏

上記①では、小規模事業者持続化補助金の経営計画書をもとに、SWOT分析、収益性分析、市場動向、顧客ニーズ等の分析手法について説明を行った。加えて、経営計画書作成にあたってのコンセプトや商品・サービス、提供方法等についても指導を行った。また中小企業省力化投資補助事業金について、対象者・対象経費・補助率等の説明を行った。

②創業セミナーの開催

名称：たいし創業塾

日時：令和6年7月6日（土）10：00～18：30

令和6年7月13日(土) 10:00~17:00

令和6年7月20日(土) 10:00~17:00

令和6年7月27日(土) 9:30~18:00

場所：太子町商工会館2階大会議室

参加事業者：13名

講師：税理士 向山 信康 氏

税理士 若槻 とも子 氏

税理士 川淵 佳子 氏

社会保険労務士 高橋 和子 氏

創業セミナーでは、ビジネスプランの策定を通して、以下の分析項目について講師より説明を行った。

1. 商品・サービス
2. 対象顧客
3. 市場ニーズ/今後の成長性
4. 競合他社に対する優位性
5. 販売促進活動
6. 資金計画
7. 利益計画
8. 行動計画

### ③中小企業診断士による個別相談の開催

主に事業環境の変化への対応や起業等、新たな取り組みのために必要な経営分析を行った。分析結果は、小規模事業者持続化補助金や起業家支援助成金等の事業計画の作成に活用した。強み・弱み・機会・脅威といった自社内外で置かれている環境等を客観的に分析する手法や収益性分析を行い、3年程度の財務計画の立案の手法も支援した。

開催日：令和6年4月2日~令和7年2月18日(3月に+2回実施予定)

月2回 計22回開催(年度内24回開催予定)

講師：中小企業診断士 荒木 慎吾 氏

参加人数：29者

セミナーに加えて経営課題を抽出し、課題解決のためのアクションプランを明確にして事業展開ができるように計画策定を支援した。特に経営計画の策定に積極的な小規模事業者を対象に巡回・窓口相談を行い、専門家のアドバイスを受けながら事業計画の策定支援を行った。事業計画を策定することにより、小規模事業者は経営目標が明確になり、商品・サービスを効果的に展開することができた。

具体的には小規模事業者持続化補助金申請支援時に8件、ものづくり補助事業3件、起業家支援助成金支援時に4件、中小企業省力化投資補助事業2件、事業継続力強化計画2件、事業継続支援事業費補助金1件、経営力向上計画に1件、経営相談に7件、創業相談に1件の合計29件を個別相談時に実施した。

また、セミナー参加者では事業計画策定セミナーおよび創業セミナー開催時で28件、合計57件の経営分析を行った。

支援内容	5年度実績	6年度目標	6年度実績
①セミナー開催件数	3回	3回	3回

②セミナー参加者の経営分析事業者数	21 者	15 者	28 者
③個別相談での経営分析事業者数	23 者	15 者	29 者
④合計分析事業者数 (②+③)	44 者	30 者	57 者

【評価・コメント】

評価	コメント
A	いずれの項目も目標を達成出来ている。創業者は比較的多い地域であり、今後も月2回の個別相談会において、支援を継続したい。
A	セミナー等の開催件数や分析事業者数が、当初の目標を達成できている。
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の士業（中小企業診断士、税理士、社会保険労務士）と連携し質の高いセミナーを実施している。</li> <li>・セミナー受講者へのフォローアップについてもぜひお願いしたい。</li> </ul>

4. 事業計画策定支援に関すること（計画書9～11P）

【実施した事業内容】 参考資料6

①事業計画策定セミナーの開催

開催概要は、2. 経営状況の分析に関することの①と同じ。

②創業セミナーの開催

2. 経営状況の分析に関することの②に記載の内容に加え、Google ビジネスプロフィールや SNS の利活用方法、労働保険・社会保険、採用にあたっての心構えや注意点、参加者の思考のクセや行動や考え方、物事の受取り方、得意・不得意を診断するテストや事業全体を把握し、その正しさを数値で確認するプロセスを疑似体験するビジネスシミュレーションゲームでセミナー参加者に対して起業にあたり必要なノウハウ等を指導した。

③DXセミナー

名称：最先端なのに簡単に使える！生成AIからスタートするDXセミナー

日時：令和6年11月18日（月）19：00～21：00

場所：太子町商工会館2階大会議室

参加事業者：28名

講師：中小企業診断士 尾形 吉通 氏

DX化推進の一環として「生成AI」をテーマに選んだ。話題の chatGPT など生成AI はユーザーへの適切な回答や新たな文章などを生成する機能を持ち、用途は多種多様でビジネスでも様々な分野で活用が可能である。小規模事業者は業務の効率化・人手不足による長時間労働が重要課題となっており、生成AI の活用により生産性が向上し、地域経済の活性化へと繋がる可能性がある。セミナーでは生成AI の初期操作から始め、業務的知識を習得するための分かりやすい内容としており、実践的ですぐに活用していただけるものにした。

	5年度実績	6年度目標	6年度実績
①事業計画策定セミナー	1回	1回	1回
参加事業者数	8者	10者	15者
事業計画策定者数	5者	5者	9者
②創業セミナー	1回	1回	1回
参加事業者数	13者	10者	13者
事業計画策定者数	7者	5者	6者
③DXセミナー	1回	1回	1回
参加事業者数	21者	10者	28者
事業計画策定者数	3者	3者	3者
④セミナー受講者による事業計画策定者数(①+②+③)	15者	13者	18者
⑤個別相談による事業計画策定者数	23者	13者	29者
⑥事業計画策定者数(④+⑤)	48者	26者	47者

#### 【評価・コメント】

評価	コメント
A	いずれの項目も目標を達成出来ている。DXセミナーは参加者が多かったため、セミナーの内容については、他の商工会と情報共有していただきたい。
A	セミナー等の開催件数や計画策定者数が、当初の目標を達成できている。社会情勢の変化に対応した支援ができている。
A	時流に沿ったテーマでセミナーを開催しており、参加事業者数は目標値を大きく上回る実績となっている。今後も旬なテーマでの開催をお願いしたい。



## 5. 事業計画策定後の実施支援に関すること（計画書 11P）

### 【実施した事業内容】

令和 6 年度に策定した事業計画 47 件及び過年度に策定した事業計画に対し、策定支援にかかわった職員が延べ 130 回訪問（令和 7 年 2 月 21 日時点）。計画の進捗状況やその後の課題等の把握を行った。

### 【目標及び実績】

	6 年度目標	6 年度実績
フォローアップ対象事業者数	26 者	34 者
頻度（延べ回数）	78 回	397 回
売上 10%以上増加事業者数	3 者	10 者
営業利益率 5%以上増加事業者数	3 者	8 者

### 【評価・コメント】

評価	コメント
A	いずれの項目も目標を達成出来ている。月 2 回の個別相談会においても、必要に応じて、フォローアップを行っていきたい。
A	職員が積極的に訪問し、当初の目標を達成できている。
A	・目標を大きく超える実績であり、しっかり取り組んでいる。 ・商工会で対応しかねるニーズについては、金融機関、士業に繋いでもらいたい。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること（計画書 12～13P）

### 【実施した事業内容】参考資料 7

物産展等の開催情報を商工会報等で発信し、速やかに情報提供するとともに、催しの内容により事業所を選定し、個別に情報の提供を行った。また兵庫 WEEK「12STARS」物産展への出展にあたり 2 事業者の支援を行った。出展者には、出展に向けて専門家個別相談を実施するとともに、出展に係る資料や準備および当日も職員が同行して支援を行った。

また販路開拓に繋げる IT アドバイザー等の専門家派遣についても実施した。

### 【情報提供により出展に至った展示会】

(1) 販路拡大において想定される展示会等

① 国際フロンティア産業メッセ/国際フロンティア産業メッセ2024実行委員会

開催日：令和6年9月5日(木)・6日(金)

参加者：会員事業所3社

② 兵庫WEEK「12STARS」物産展/兵庫県町村会・KissFM KOBE

開催日/場所：令和6年4月24日(水)～30日(火)/宝塚阪急(正面入り口前特設)

令和6年9月18日(水)～24日(火)/川西阪急(1階催場)

令和6年10月23日(水)～27日(日)/宝塚阪急(正面入り口前特設)

参加者：会員事業所2社

【目標及び実績】

	6年度目標	6年度実績
①国際フロンティア産業メッセ (BtoB) 兵庫 WEEK「12STARS」物産展 (BtoC)	2者	5者
商談成約数	1者	7者
②SNS活用事業者	7者	13者
売上増加率/者	10%	10%
③ECサイト利用事業者数	5者	4者
売上増加率/者	10%	10%

【評価・コメント】

評価	コメント
A	殆どの項目で、目標を達成出来ている。兵庫 WEEK「12STARS」物産展へ出展されており、積極的な姿勢が見受けられる。
B	ほぼ、目標どおりの実績であり、しっかり取り組まれている。
B	・ほぼ目標どおりの実績であり、しっかり取り組んでいる。 ・今後も管内小規模事業者の販路開拓支援に取り組んでいただきたい。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

1. 経営指導員等の資質向上に関すること

【実施した事業内容】

(1) 研修による資質向上

- ① 兵庫県商工会連合会が実施する研修の受講 5名
- ② 全国連が実施するWEB研修（eラーニング）の受講 5名

(2) OJTによる資質向上

- ① 創業支援等において、経営指導員が経営支援経験の浅い経営支援員等に対して円滑に支援が進むよう助言するとともに、必要に応じてペアで支援にあたる等、OJTを通して経営指導員の支援ノウハウを継承していくことに努めた。次年度も、より高度な補助金の事業計画策定等を通して、OJTによる資質向上に努め、一層の経営支援業務の拡充を図る。

(3) 職員間の定期的なミーティングの開催

- ① 原則月1回のミーティングを開催し、小規模事業施策の説明や各担当の支援状況の進捗等、情報共有を図った。

令和5年度 12回

令和6年度 11回(令和7年2月末時点)

(4) 小規模事業者支援システムの活用によるデータベース化

- ① 小規模事業者支援システムに支援内容の概要を入力し、職員間で共有を図った。これにより職員間なら誰でも会員事業所の支援状況にアクセスできるようになった。そのため、担当外の職員や人事異動等で担当が変わる際にも、引継ぎ等の簡略化が図れるようになった。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	資質向上やデータベース化において、積極的な姿勢が見受けられる。少ない職員数で多くの会員事業所を担当されており、他の商工会の模範となる取り組みである。
B	職員間での情報共有により、ほぼ、目標どおりの実績であり、しっかり取り組まれている。
B	小規模事業者の経営環境は厳しさを増しており、相談内容も多岐に渡っている。より一層の支援力向上をお願いしたい。

【総括評価・コメント】

令和6年度の事業を総括して評価してください。

総括評価	コメント
A	太子町商工会と会員事業所の間には、信頼関係が十分に構築されており、日々の来会者や個別相談会への申込者は、他の商工会よりも多い。会員事業所の相談内容は経営発達支援計画に関する内容も多く、各委員の評価・コメントも参考にした上で、総括評価はAとした。その上で、評価がやや低い項目については、次年度に改善されることを期待している。また、次年度の評価委員会は対面で開催されるとのことであり、忌憚のない意見交換の場が設定されることを期待している。尚、少ない職員数で多くの会員事業所をカバーされている点は、他の商工会の模範となる取り組みであり、各委員もこの点を大いに評価した。